

平成27年度

# 第1回国有林モニターアンケート 結果概要

東北森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様の意見等の適確な把握とそれらの意見を反映した管理経営の推進のための取組の一つとして国有林モニター制度を設けています。

この度、平成27年9月～平成27年10月に、平成27年度第1回国有林モニターアンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。なお、自由意見等については、抜粋・整理して掲載しております。

## ○お伺いした項目

- 1 木材の需要拡大に向けた取組について
- 2 東北森林管理局のパンフレット「東北の国有林」について
- 3 ホームページについて part II
- 4 平成27年度 国有林モニター現地見学会について
- 5 その他のご意見等について

## ○ アンケートの実施概要

発送 : 平成27年9月30日  
回答期限 : 平成27年10月23日  
回答率 : 83%(42人中35人回答)

※今回より、希望される方には電子ファイルでのアンケート配布・回答を実施。  
42人中3人の方が電子ファイルを用いてメールにより回答。

ご協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

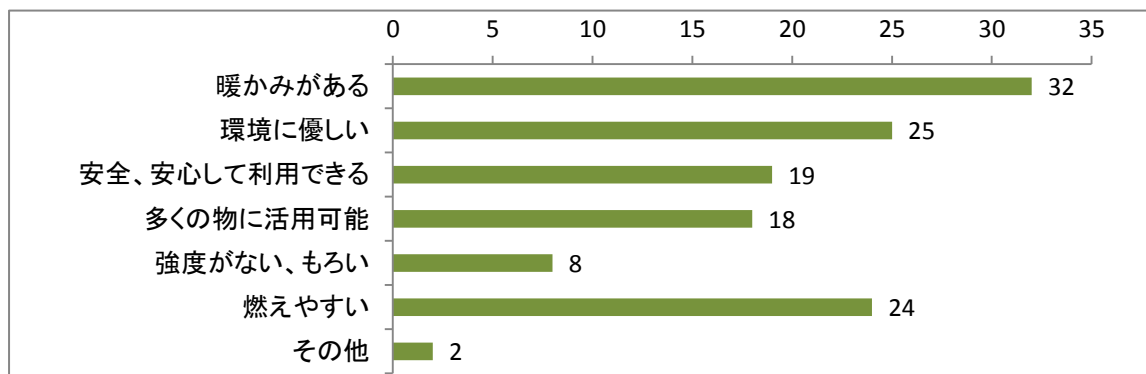
国有林モニター制度とは、アンケートの実施や国有林モニター会議の開催を通じて意見を伺うほか、広報・パンフレット等で情報提供を行うなど、国民の皆様と国有林との間で、双方向の情報受発信を行う取組です。

現在、平成27年3月までを任期として、管内5県の42名の方にモニターに着任して頂いております。

# 1 木材の需要拡大に向けた取組について

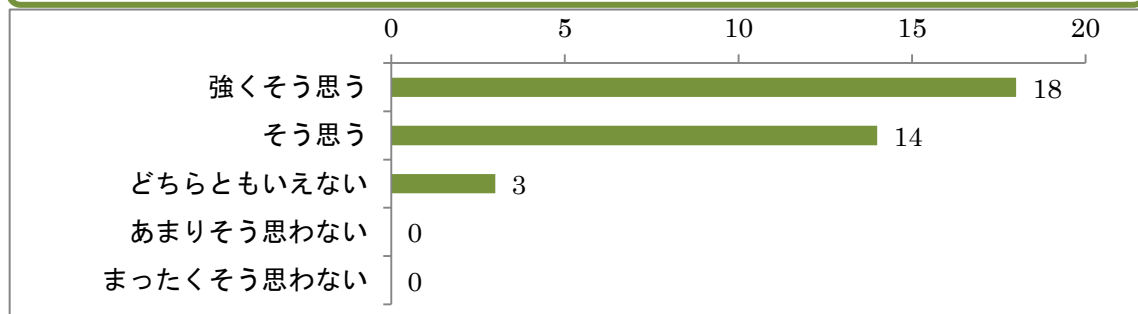
林業の成長産業化にとっても重要な木材の需要拡大。この取組についてモニターのみなさんはどう感じているのかお聞きしました。

## 問1 木材に対してどのようなイメージがありますか？



(複数選択可)

## 問2 木材の需要を拡大する事についてどう思いますか？



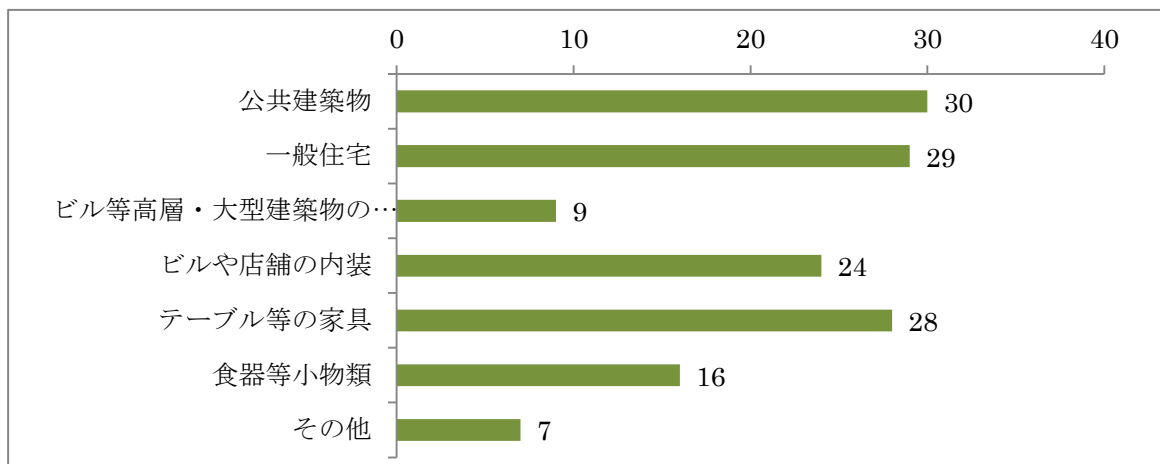
(その理由)

- ・日本に生育している物である
- ・存在している物を使うと、その環境にあっているから良いと思われる
- ・国土に大きな割合を占める森林の活用は国の課題であると思います。CO2の生産量、排出量をチェックし、有効なサイクルを考えた上で需要拡大を図るべき
- ・積極的に利用・活用した方が良い、但し計画的に。森林の整備が遅れると山が荒廃し災害にもつながる。日本の国土の6～7割が森林であるから、自然と共存できるようがんばってほしい。
- ・環境のためにも、木は土に戻す事が出来るから
- ・所有の山に多くのスギが生育しているから
- ・最近では人工的に作られた物をどんどん採用し、自然の産物である木そのものの使用が少なくなっているように思われるから
- ・コスト（輸入など）対比で、木材の需要が新技術などから可能になり得るから
- ・木材の需要を拡大し、そのことをわかりやすく、目に見える形にする事で、木材森林に対する関心も引き起こせると思います。

- ・国民の仕事が増える
- ・木材が利用期に入っており、需要が少ないからといって収穫せず、放置したら将来の森林育成がさらに困難になる。需要を拡大し木材を利用し、次世代の木を育てていく事が出来ればそれに超した事はない。
- ・今まで育ててきた木を使うのは当然
- ・資源の少ない日本で木材は自給できる資源であり、価格面をクリアすればどんどんと使っていける。
- ・国内の木材需要を拡大する事は、間伐をより進めて、よりよい森林が多く出来ると思われるため。
- ・山が荒れ、自然環境が保持されない
- ・供給する側とのバランスが保たれ、木材価格の上昇につながる
- ・このままでは日本の森林は荒れてしまいそう
- ・環境に優しい、再生産可能な資源である。CO2の削減、吸収の効果が有る。
- ・特に国産材の利用が少ないため、手入れがされず日本の森林が荒廃するから。
- ・森林の循環がされず、地球温暖化に影響が懸念されるから。
- ・今後の若い世代に、森林再生の悪影響が発生してくると思ったから。
- ・戦後拡大造林された杉、檜、唐松、松などの人工林が、50年以上経過し成熟期を迎えています。日本の森林には国民が気がつかない素晴らしい資源が眠っていますので、これからこの資源を積極的かつ有効に利用すべきと思います。

### 問3 どのような箇所に木材を使用すべきだと思いますか？

(複数選択可)



(その他)

- ・道路の柵、登山道
- ・治山事業
- ・木質バイオマス (2)
- ・海外への輸出増加

## 問4 問3で選択しなかった物についてなぜそう思いましたか？

<一部抜粋>

(自由記述)

### ②一般住宅

- ・需要比率が固定化しているから

### ③高層建築物

- ・強度が心配、また多く使いすぎると森林がなくなる
- ・未だ強度に疑問が残る。但し今後の技術開発では最近可能性が出てきている。CLTの材の組み合わせにおいても構造用集成材としてラミナの強度構成如何であろうと思うので、夢のある部分。
- ・高層建築物の構造材としての強度には不安
- ・強度が必要なため、安全面でどうなのか心配
- ・鉄骨と同様に耐震性があるといわれるが、大型建築物となると不安を感じさせられる
- ・大型建築に木材を利用できるのは現時点では限られる。継続的な研究は必要だろうが、限度があると思う。
- ・高層・大型建築物の実績が多くないため集製材の現在の技術の限界
- ・集製材の現在の技術の限界。

### ⑤テーブル等の家具

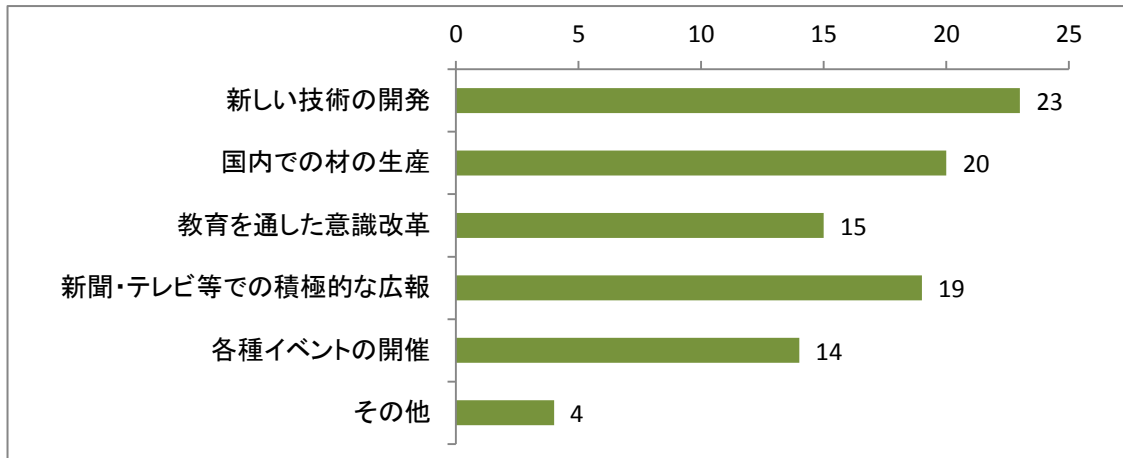
- ・すでに使用されていると思慮
- ・家具や食器類は、建築材より使用料が少ないので需要拡大にはあまり貢献しないと思いました。

### ⑥食器等小物

- ・削れて破片が食べ物に入ると不安があるため
- ・ガラスやプラスチックの方が衛生的に感じる
- ・多く見かけるが、高価であったり、実用性に欠ける物も少なくない。愛好者も限られる
- ・家具や食器類は、建築材より使用料が少ないので需要拡大にはあまり貢献しないと思いました

## 問5 需要拡大のために何を行う必要があると思いますか？

(複数選択可)

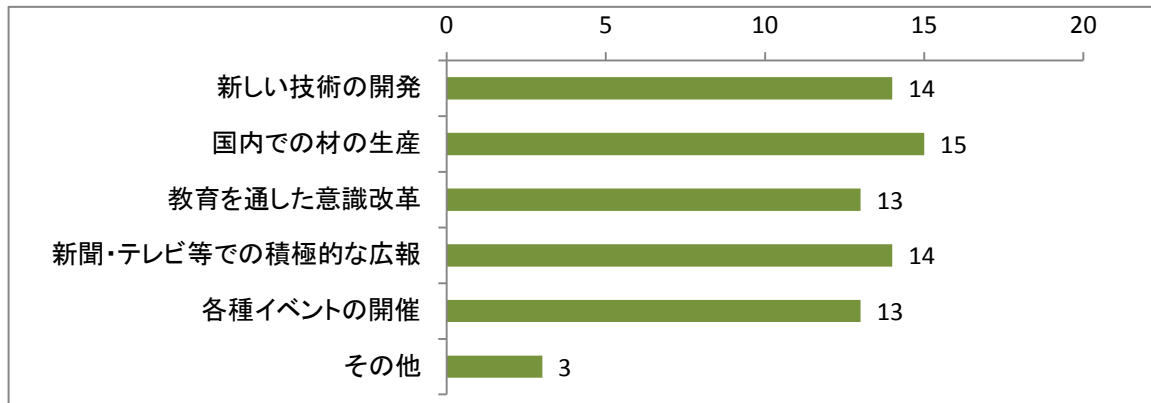


(その他)

- ・海外への輸出 (2)
- ・国産材を利用したエネルギー政策の変更 など

## 問6 国有林では特に何を行う必要がありますか？

(複数選択可)



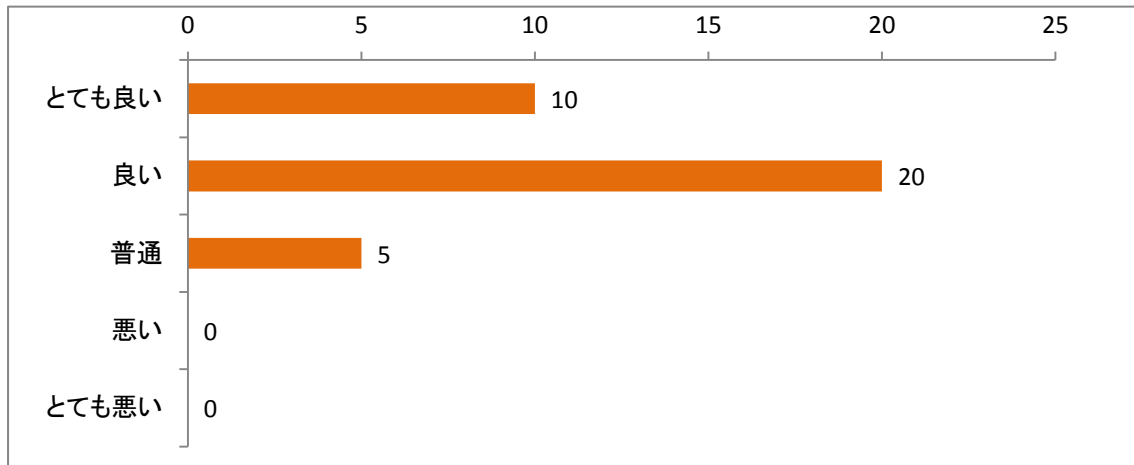
(その他)

- ・外国産材の関税を上げ、国内産材の利用を推進する。
- ・国産材を利用したエネルギー政策の変更

## 2 東北森林管理局のパンフレット「東北の国有林」について

東北森林管理局で行っている業務を簡潔に説明している資料である「東北の国有林」について、今後の改訂の際の参考とさせていただきたく、率直なご意見をお伺いしました。

### 問1 パンフレットについてどのように感じましたか？



### 問2 良いと思った箇所、悪いと思った箇所について記載下さい。

(自由記述)

#### 【良いと思った箇所】

- ・文字と写真のバランス
- ・表紙の絵
- ・様々な取組の紹介を絵と写真をたくさん使い紹介している
- ・見出し、文章、写真が見やすい
- ・写真が美しい、写真が多く取り入れてありわかりやすい
- ・写真イラストなどがあり大変読みやすい
- ・写真、図表が適切に使われている。説明の文章がわかりやすい。
- ・各署等の取組み紹介
- ・広報誌と競合するようなイメージがあるも各署の活動状況の透明性が確保されている
- ・レクリエーションの森は身近に感じられるコンテンツだと思う
- ・重点機能を管理経営するために5つに分類し、それぞれ具体的にどのように目的、活動を行っているかがわかりやすかった
- ・地域の安全、安心な暮らしの実現
- ・コンパクトにまとまっており、大まかな方針がわかりやすく見やすい物であった。写真有りも良い。
- ・東北各地の森林の事がよく分かる。特に東日本大震災から復旧している地域の事が分かる

ので良いと思った。

- ・緑の回廊（将来的に広葉樹を中心とした天然林を目指しているという所に感銘を受けた）
- ・国有林（森林）に興味がある人には内容が充実していてとても良いと思った。
- ・1 ページ目の円グラフがわかりやすい。表紙のブナ林がとても良い。全体像がよく分かった。単なる国産材の生産機関のみならず、環境の保全活動への理解の助けになる点。
- ・単なる国産材の生産機関のみならず、環境の保全活動への理解の助けになる点。
- ・東北管内の森林の状況が把握できた。
- ・国民参加の森林づくりのボランティア活動の内容がわかったから。
- ・全体的に、定性的な業務概要ですが、とても分かり易い内容です。特に、業務内容の3つの柱のうち、公益重視の管理経営と国民の森林としての管理経営については、分かり易い文章と写真の掲載で、国有林の大切さ管理運営の大切さが理解できました。

#### 【悪いと思った箇所】

- ・地図が不鮮明でわかりにくい
- ・文字の大きさがこの倍くらいならいい
- ・問合せ先のページは余白があるので、名称を2段に分けなくて良いのでは
- ・平凡、おもしろみがない
- ・各署員の論考など私見として表明する事があってもいいように思える
- ・各署員の趣味の公表も組織を厚くして信頼される物にします
- ・地域で担当している研究や検討している事をもっと表明しても良いように思う
- ・国有林のイベント紹介がほしい。それにより国有林の目的や環境を知る事が出来るため
- ・業務の紹介にとどまっているところ
- ・役所的な方針と言った印象を受ける。なぜこの方針になっているのかの、背景の説明がもっとあっても良かった。
- ・一般の人には難しい用語が並び、あまり受けないと思った。
- ・業務概要に、重要な予算の記載がありません。国有林を維持管理運営していくために、どれ位のコストがかかっているのかも重要な概要の一つです。また、業務内容の3つの柱の森林林業再生に向けた取組で、林業の低コスト化を説明していますが、実際に低コストになるのか従来と新たな試みによる試算推計値等があれば分かり易いと思います。

### 問3 コレは記載すべきと思った物があれば記載下さい

（自由記述）

#### 【各種事業の説明等】

- ・レクリエーションの森林づくりをもっとPRすべき
- ・動物の食害対策のテーマがほしい
- ・木材利用の促進の中で「木づかい運動」の身近な事例などをもっと紹介すればより身近で親近感をもてるのでは
- ・様々な業務が紹介されているが、どんな現状、課題があつてこの業務を行っていると言った背景の説明があつた方が資料に説得力が生まれる。
- ・国有林の経営について示すパンフレットならば、予算と収支の記載が必要と思慮。現状では、どの方針にどの程度の力配分で行っているかがわかりにくい。

- ・レクリエーションの森のところで、「自然休養林はストレス解消・健康増進に良い」など
- ・国有林モニター制度の紹介
- ・各地で土砂崩れなどが多発しているが、それらの対策や事業等を広く紹介
- ・有害鳥獣駆除で発生したシカ肉などの有効利用の取り組み。
- ・公益重視の管理経営の記載で収支金額の表示が知りたくなりました。

#### 【民有林との連携】

- ・直接国有林に関係はしないが川下側の成功事例（木質ペレット、集成材）についても記載しては
- ・配布先に民間部門があるとすれば、それら部門の方々の意見が載ってもよいのではないか。例えば NPO やボランティア団体の活動など
- ・林業に就職している人がこんなに楽しい生活を送っているんだと、小さくでも取り上げてほしい
- ・森林、林業再生で民間企業との取組事例など知りたくなりました。

#### 【イベント情報、職員の紹介】

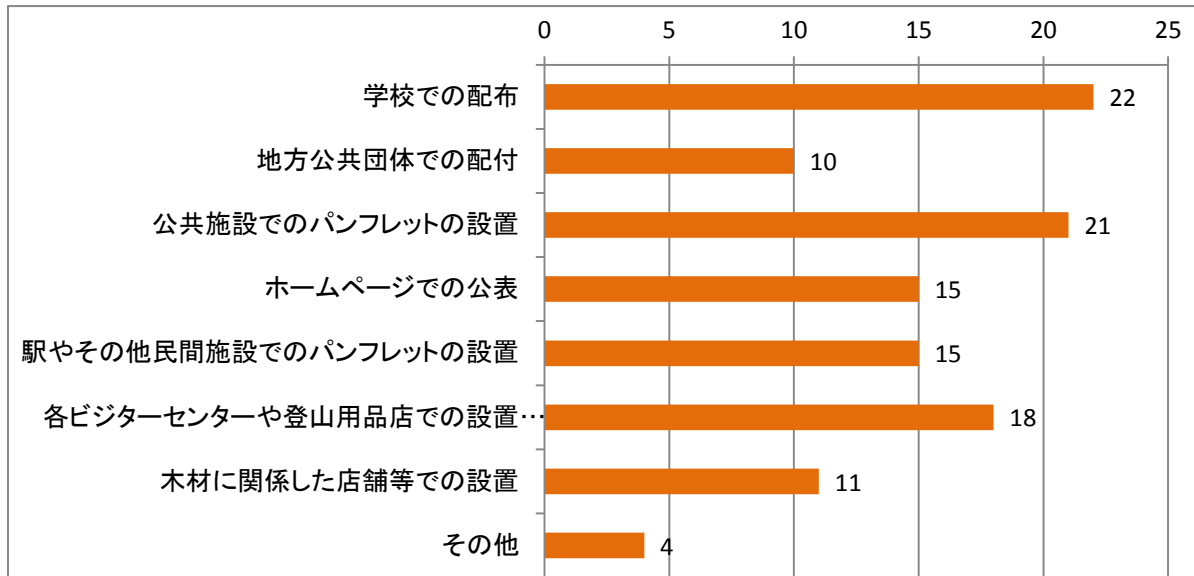
- ・各署等で行われるイベントの日程（2）
- ・森林・山村多面的機能対策として成果のある事や検討すべき事（政策は走りながらローリングで施策を考えるスタイルが求められているように思える）
- ・組織ページに新任官の一言挨拶（顔写真付き）があるとより興味深い内容となるのではないのでしょうか

#### 【その他掲載事項、レイアウト等】

- ・教育を通じた意識改革を進めるため、子供たちがわかりやすいイラスト形式にしてみてもどうか
- ・東北の国有林はこれから、” どうして行く ” のか未来への発信が知りたくなりました。
- ・東北の林業の歴史等を象徴する博物館、施設をのせては？
- ・東北各地の高校や大学の林学科を紹介して下さい
- ・パンフレットのタイトルが『東北の国有林』となっていますが、内容は、東北森林管理局管内の業務概要です。一般的には、『東北』という名詞を使う場合は、東北6県を指すものと国民は認識していますので、福島県を入れた統計にしないと私たちには、理解し難い部分があります。参考に、福島県分のデータを追加するのか、あるいは、東北という呼称は使わずに東北森林管理局管内という表記に統一する方から良いのではないのでしょうか。



問4 より多くの人に見てもらいたいには  
どのような取組が必要だと思いますか？



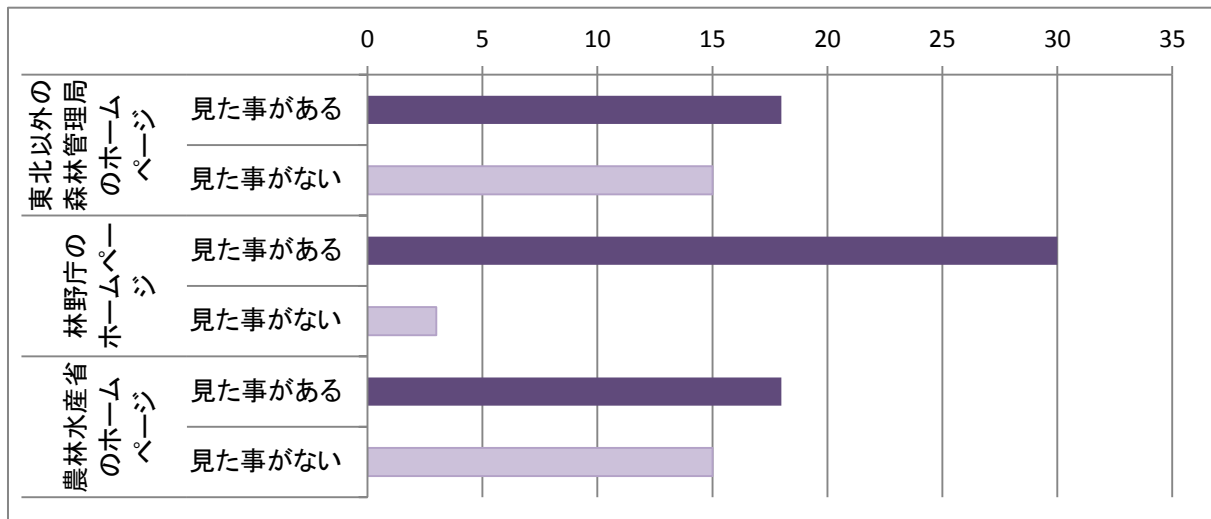
(その他)

- ・図書館
- ・特に道の駅
- ・木材利用する企業のHPに広告（バナー）をのせる。
- ・テレビ、ラジオ、新聞等を利用した広報

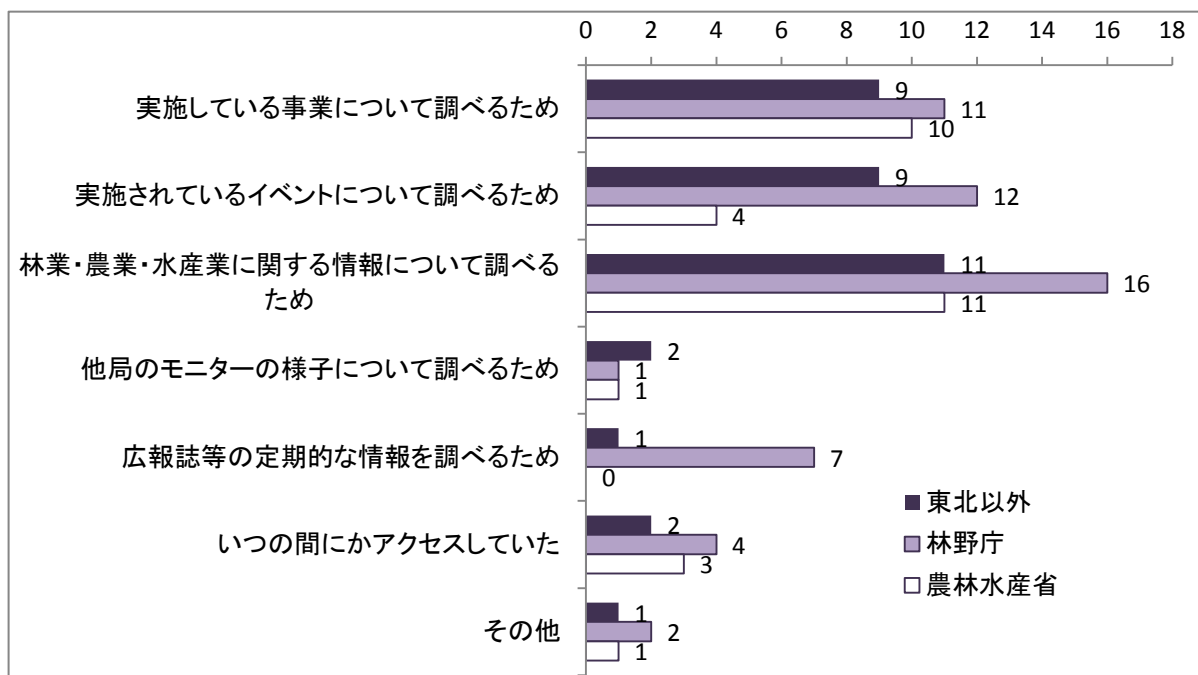
### 3. ホームページについて part II

以前のアンケートでお伺いした、東北森林管理局のホームページについて、もう少し踏み込んでお伺いしたく、質問させていただきました。

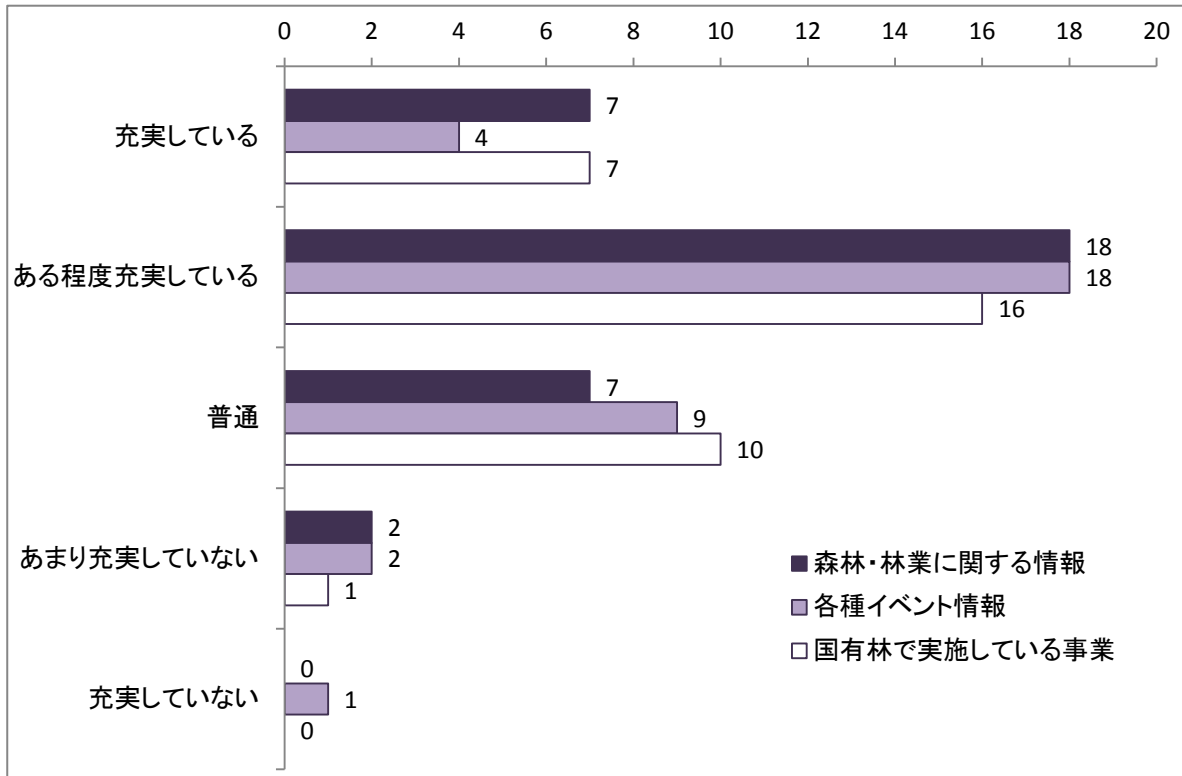
問1 東北森林管理局以外の森林管理局、林野庁、農林水産省のホームページは見た事がありますか？



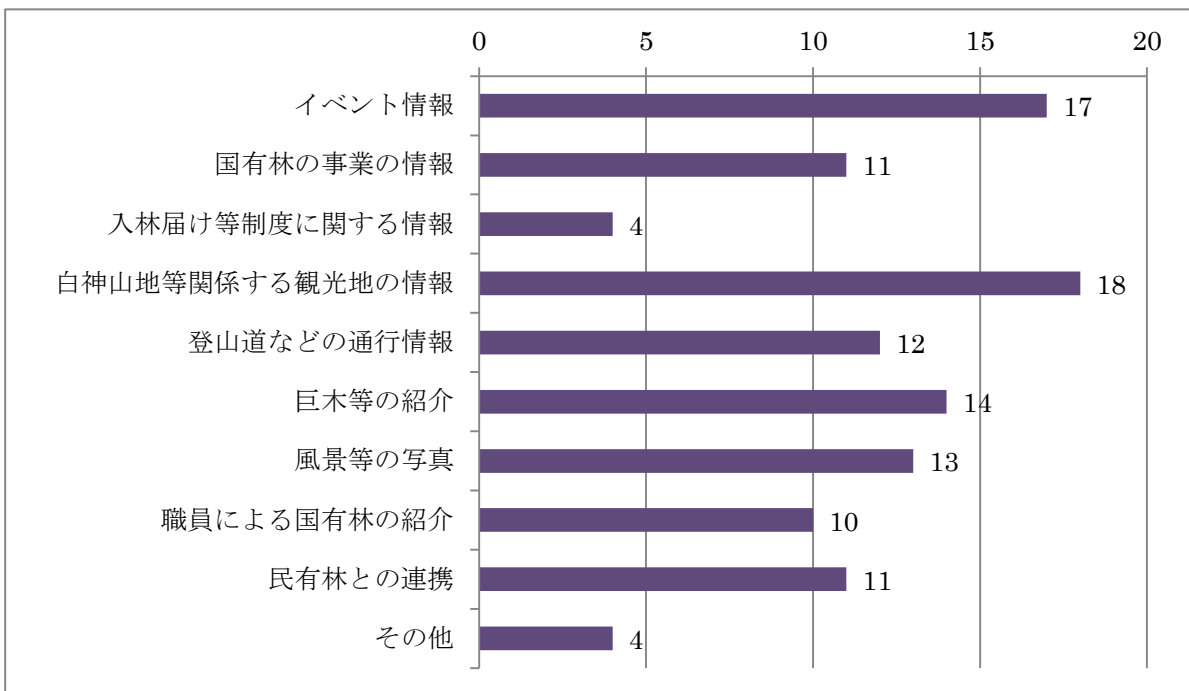
問2 見た事があるという方にお聞きします。どのような目的でご覧になったのですか？



問3 以前のアンケートでホームページを見る目的として多かった以下の項目はどの程度充実していますか？



問4 今後記載すべき情報、またもっと前面に出すべき情報はどれがいいと思いますか？



(その他)

- ・「山形日和」等で多くの方に来てもらうための、「目」をひく（トピックス）シンボルになるようなものの紹介

- ・林業の現場のすばらしさ
- ・クマ、シカ、スズメバチ等山の危険な生き物の出没情報、出会った際の対策
- ・森林＝不要な物を捨てる場所とならないための啓発ページなど

(理由)

#### 【イベント情報や風景写真、観光地の情報】

- ・一般の人たちに興味を引きそう
- ・国民に関心ある観光地、登山道の分野も分けてアイコン的に表示する
- ・風景写真を入れる事で興味を持ちその場所に行きたいと思うのでは
- ・まず関心を持ってもらう事が重要
- ・国民に関心を持ってもらう事が重要だと思うので、集客効果のある情報を出したら良いと思う
- ・一般の人が言ってみたい情報、人々を呼べる事が出来る情報
- ・一般の人にも国有林のすばらしさをもっと知ってもらうため
- ・イベント情報や観光情報は森林に興味を持つきっかけになる。積極的に案内すべき
- ・いろいろな人に興味を持って頂くため
- ・広く興味を持ってもらうためには、視覚に訴えるため
- ・国民に知ってもらう事が大切。まず関心の持てる物を前面に出すのが良いだろう。
- ・親近感を持ってもらうため
- ・事業などの紹介は十分であるので、もっとリピーターが増えるような内容の充実・森林のすばらしさを知って楽しむ事を目的として情報を提供してほしい（パワースポットで賑わう町が話題）
- ・SWの嵐のコンサートで全国からファンが20万人以上来たと聞く。ファンには東北にもう一日以上滞在してもらい、森林などにもイベントと合わせて何か出来たら（告知も含め）次世代へ森林の大切さが伝わったのではないかと思う。
- ・観光地としての国有林地域に興味がある人や訪れる人向けの情報をわかりやすく整理して配置しても良いだろう
- ・親しみやすくするには、イベントや広報活動が一番と思います。
- ・震災前、きのこ取りのイベント（森林管理署主催）がありましたが震災の影響で最近は見なくなりました。
- ・森林管理局管内全体では、多くのイベントが開催されているようですが、27年度計画概要で森林管理署単位で比較すると、0回から3回程度です。地元住民が気楽に何度でも参加できるようなイベントを期待します。

#### 【入林届けや登山道の情報】

- ・入山時の事故を防ぐため（少しでも安全を高めるため）
- ・最近山での事故、遭難等が多いため。また山菜採りの老人の事故も多い

#### 【職員による国有林の紹介】

- ・見学会で森林官の知識の豊富さに触れたため
- ・文才の優れた人が多いので。どんなお顔の人かみたいので
- ・実際に働いている方はどのような事を考えているのか知りたい。林業をビジネスとして関

りたいというような企業の人、若者にもっと情報を発信できれば、業界自体が活性化するのではと考えます

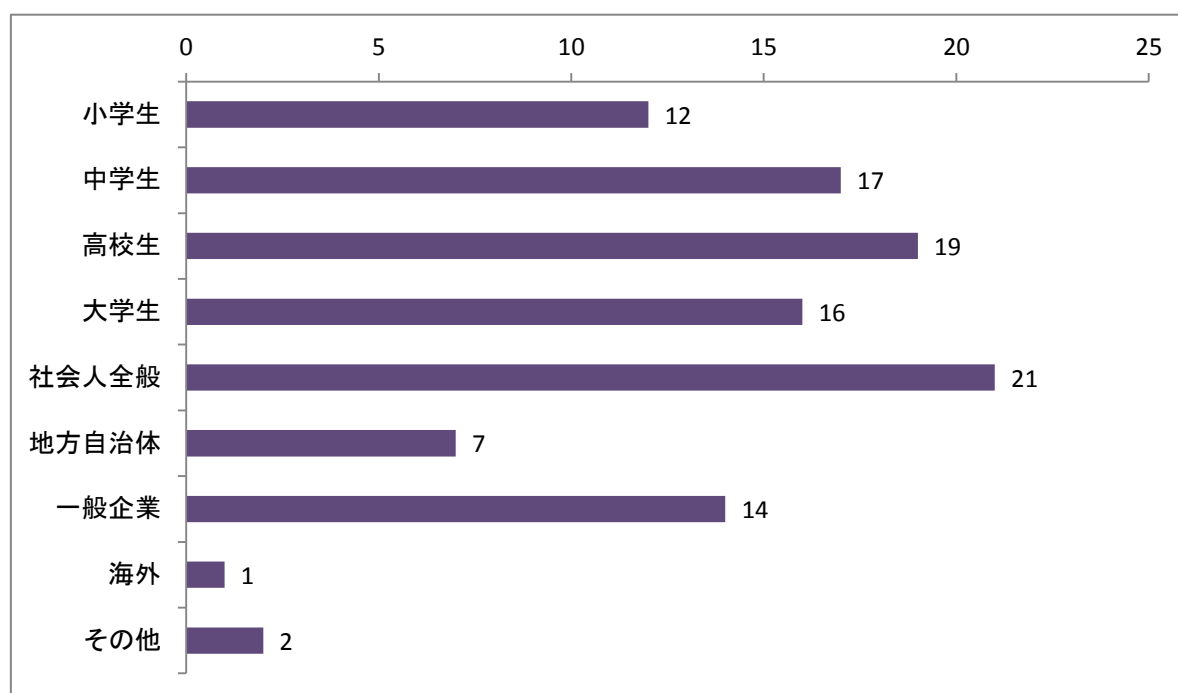
#### 【民有林との連携】

- ・地方では民有林との関係も必要だと思います
- ・境界以外、国有林と民有林のつながりは少ないのではないのでしょうか
- ・森林荒廃の現状を考えると民国一体となって取り組む必要があると思う。
- ・国有林事業の方向性もあると思いますが、民有林との連携には興味があります。(事業展開など)

#### 【その他全般的な意見】

- ・国有林の事務に関わる分野、政策に関わる分野をアイコン的に区分して表示してはどうだろうか
- ・学術的に重要な自然景観、巨木、職員による照会も1画面のアイコン表示で深く検索できるようにしたほうが良い
- ・林があってもどうしたら良いのか分かりません。国有林のつながりなどからいろいろ情報が欲しい。
- ・国有林事業についての国民の理解度がまだまだ低いと思われる為。国有林を身近に感じてもらい国有林事業の理解を深めてもらう為。

### 問5 特にどのような方々を対象としたホームページづくりを進める事が良いと思いますか？



(理由)

【若い内から】

- ・小さい頃から森林に親しめるように、展示会、各種イベントを中心に森林を身近に感じられるように
- ・小さいときから興味を持たせるため
- ・関心を持つには小さい内からの方が頭に残ると思うから
- ・考える力を持った若い人がわかりやすいように
- ・子供の頃から「国有林が大事なんだ」と言う事が必要
- ・将来を担う子供に感心を持ってもらい、その親にも子供に引っ張られて興味を持つと思う
- ・みんなに見てもらおう事を意識する年代は小学校高学年と聞いているので
- ・これからの国の担い手であるから
- ・職業としての林業の現在を紹介し人材の確保に繋げる為。
- ・森林の大切さがわかる年代、若い担い手向け（就職含む）への情報発信が必要と思います。  
「未来に向けて」一般企業に向けての生業を後押しする情報発信が必要と思います。
- ・子供の頃からの知識が頭の中に残ると思う
- ・子供向けのコーナー、海外向けのコーナーなどがあっても良い
- ・国有林は何なのかを知るため

【社会人】

- ・対象者が最も多い層を狙うべき
- ・社会人全般について、森林と関係ないと思っている事業所が多いと思うので、様々な事業や業態と絡める形でのHPを
- ・産業理解から需要拡大が見込めるから
- ・情報を欲している人に適切な情報が簡単に発信されるように
- ・木材の活用に興味を持っている世代だから

【全般】

- ・広い世代と次の世代（森林は長い時間がかかるので、伝えていく日本の財産だと思うので）
- ・小学生は小さい頃から森林の必要性を感じてもらいたいため、社会人全般は再度森林の大切さを認識していただくため
- ・年齢を問わずPRが必要
- ・政府機関を魅力的に編集して紹介する事は難しい事と思慮、PRするのであればターゲットの関心のあるよう編集すべき。分野別に感じ方が異なるので官庁目線にならず、マーケットインの考え方が必要と思慮、政策的にもっと関心を持ってほしい分野はフォームも文字のみではなく多様な手法で切り込んで行くのはどうか。一般的なアイコンなどのボタンによる選択で入り口部分を優しくするのが良いと思慮
- ・HPはいろいろな人が自由に見れるので、年齢男女問わず全世代向けのもので表現もわかりやすい方が良いと思う
- ・広い方々に見て頂くのに、担当者が目的を持ってわかりやすく掲載すれば良いと思う。固有名詞には出来るだけ振り仮名をつけてほしい。
- ・子供の頃より林業に興味を持ってもらい、一般の人にも理解してもらうため

- ・民有林との連携が必要と思うため
- ・幅広い年齢の方に知らせた方が良い
- ・民間の資本を導入すべきだと思います
- ・国の行政機関のHPですから、対象を絞らずに国民全体に年代も広く情報発信する必要があるのではないのでしょうか。

## 問6 その他、ホームページについてご意見があればお書き下さい。

(自由記述)

### 【レイアウト関係】

- ・トップページの写真をもっと明るいものに（冬山の写真は冷たい、寒い感じがする）
- ・「木材を使用した治山工事事例」など、写真が小さい。クリックして拡大できたらおもしろいのに残念
- ・5年前初めて見たときより遙かに感動が違う。内容文章に向上が見られる
- ・この先も良い情報を期待します
- ・国有林の木材の情報が必要な人向けのコーナーと、観光情報を見たい一般の人向けのコーナーをわかりやすく分けて作っても良いだろう。

### 【掲載情報している（すべき）情報について】

- ・北限である松枯れの近況やナラ枯れに関するアピールが弱いように思える。最近松枯れが目立っており、東北森林管理局が率先して注意を促すくらいの事は積極的にお願いしたい。これらの事はホームページで発出すればよしとするのではなく、マスコミなどの活用も合わせて行う事をお願いする
- ・管内の景観を無人へり活用した物の掲載に努めて下さい
- ・「RINYA」の「お山ん画」（漫画）のようなもう少しはじけた感じで、けれど役に立つ情報を載せるのはどうでしょうか。例えば、キノコの見分け方（一見おいしそうでもこいつは危険）など
- ・山から海を通した森林に関する情報が必要だと思います。
- ・ゲリラ豪雨やそれに伴う災害が今の日本では何処で起きても不思議ではなくなった現状を説明して、森林の役割が以下に大切であるかをPRしてもらいたい。
- ・一般企業が参加した事業内容やその報告を閲覧したいです。
- ・公益重視の管理経営の記載で収支金額の表示が知りたくなりました。
- ・森林、林業再生で民間企業との取組事例など知りたくなりました。
- ・東北の国有林はこれから、” どうして行く ” のか未来への発信が知りたくなりました。

### 【イベント関係の情報について】

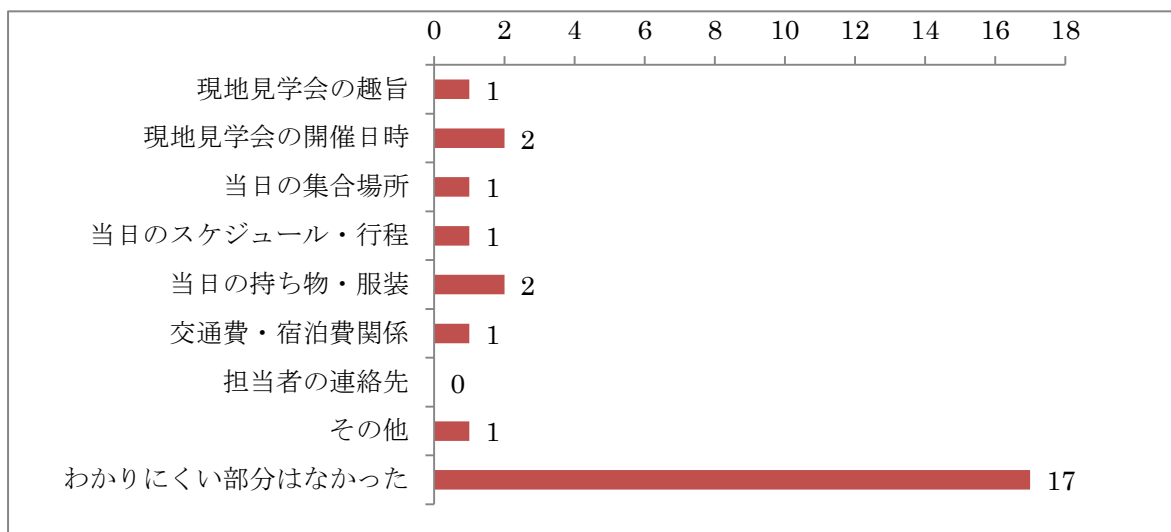
- ・イベント情報はなるべく早めに表示してほしい
- ・イベント情報は一般の人に伝わりやすいように文字を書き綴るだけでなく、イラスト、絵、レイアウトに気がつけた方が一目見て分かる。

## 4. 現地見学会について

東北森林管理局では、国有林モニター活動の一環として、国有林野事業の現場をモニターの皆様にご見学頂くための見学会を開催しています。平成27年7月には、平成27年度の現地見学会を、岩手県遠野市にて開催しました。そこで、この見学会について、参加された国有林モニターの皆様のご意見・ご感想をお聞きしました。（参加者は23名でした）

### 問1 事前案内のうち、わかりにくいと感じた部分はありましたか？

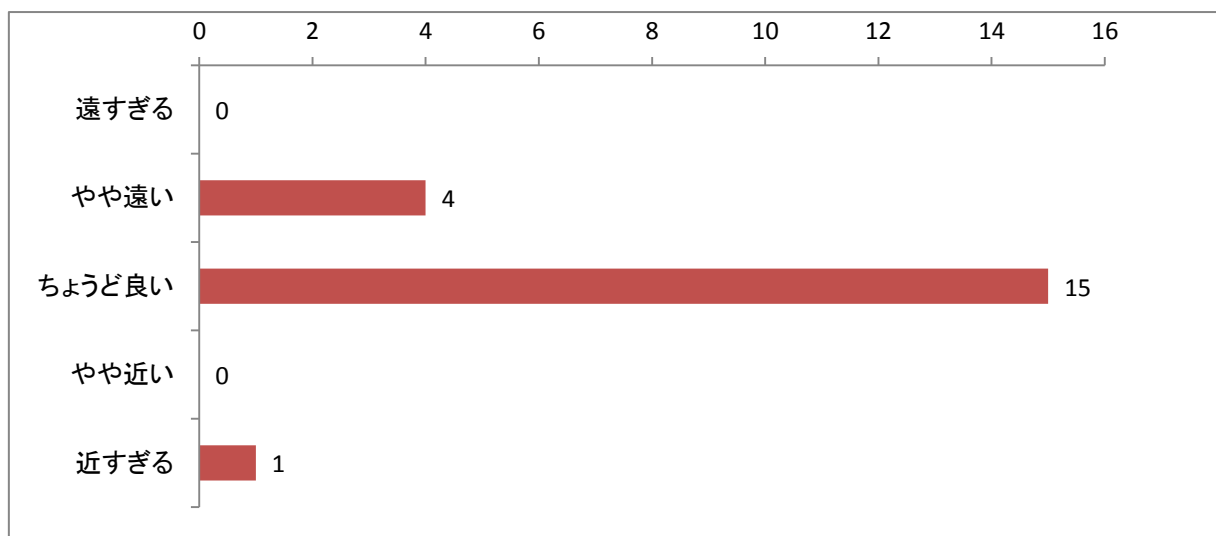
（複数回答可）



（その他）

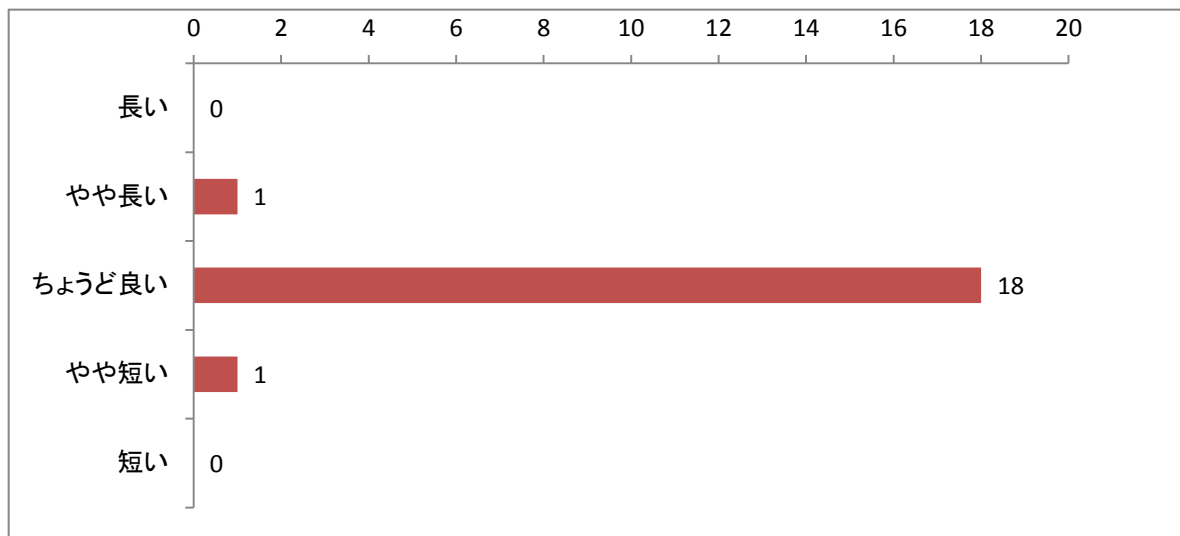
- ・当日猫を連れてきた人がいたが、動物は連れてきてほしくない

### 問2 見学会の開催場所についてどのように感じましたか？



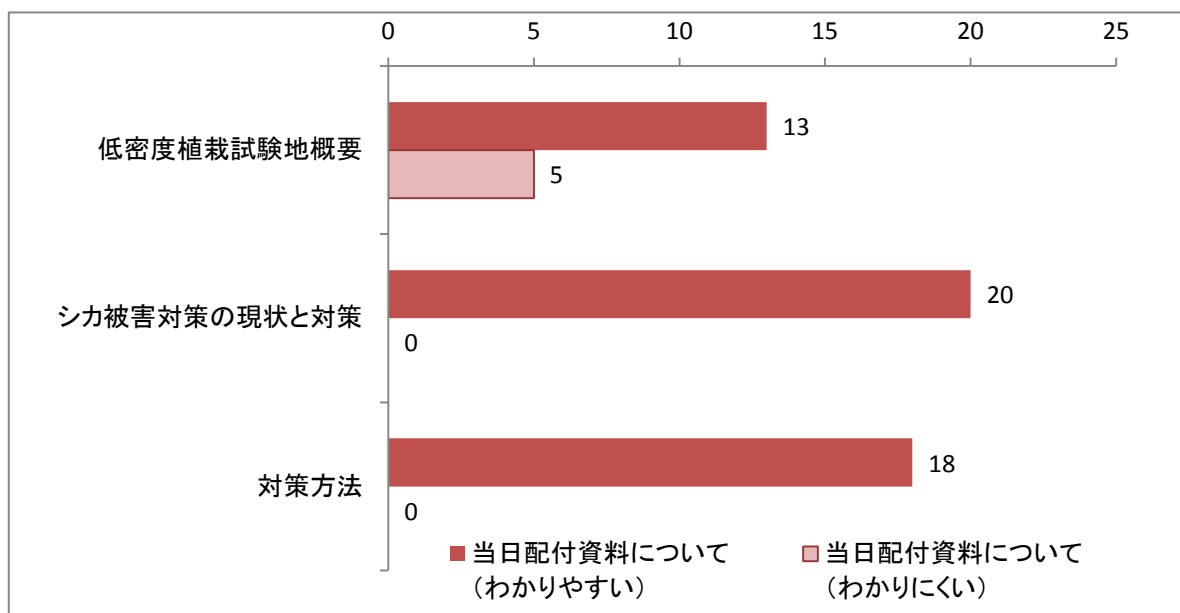


### 問3 見学会の行程についてどのように感じましたか？

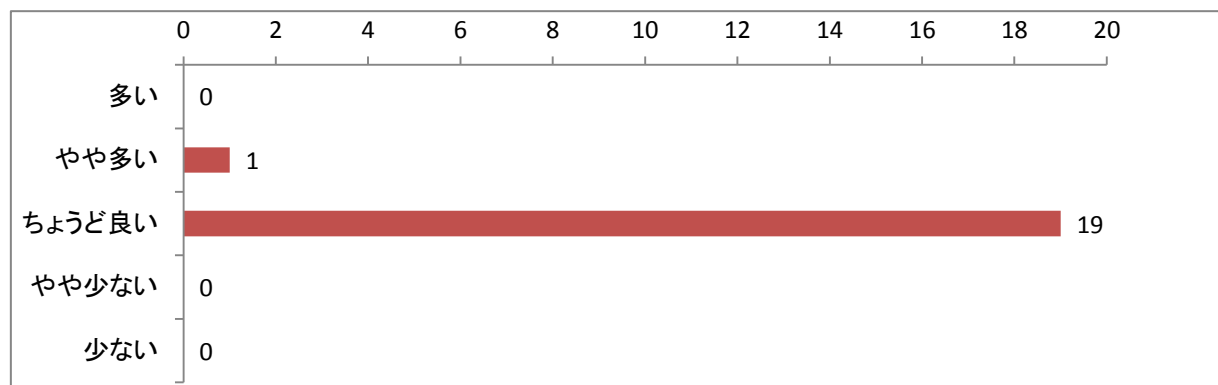


### 問4 当日の配付資料についてどのように感じましたか？

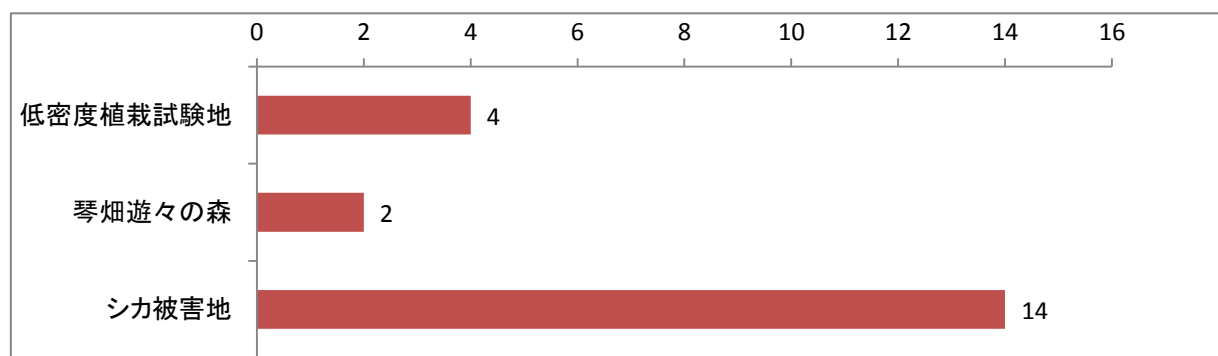
(各資料について回答)



### 問5 当日の配付資料の量についてどのように感じましたか？



### 問6 当日最もおもしろかった見学地は何処でしたか？

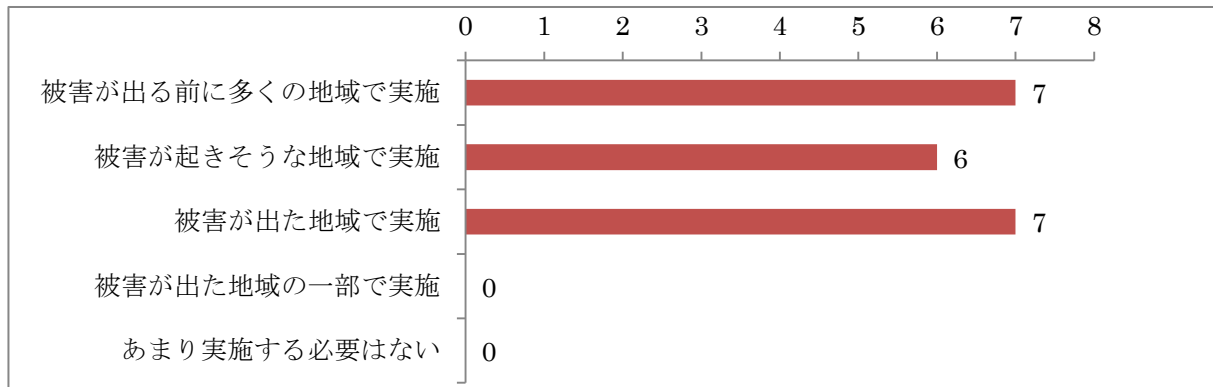


### 問7 もっと知りたいと思った点について記載願います

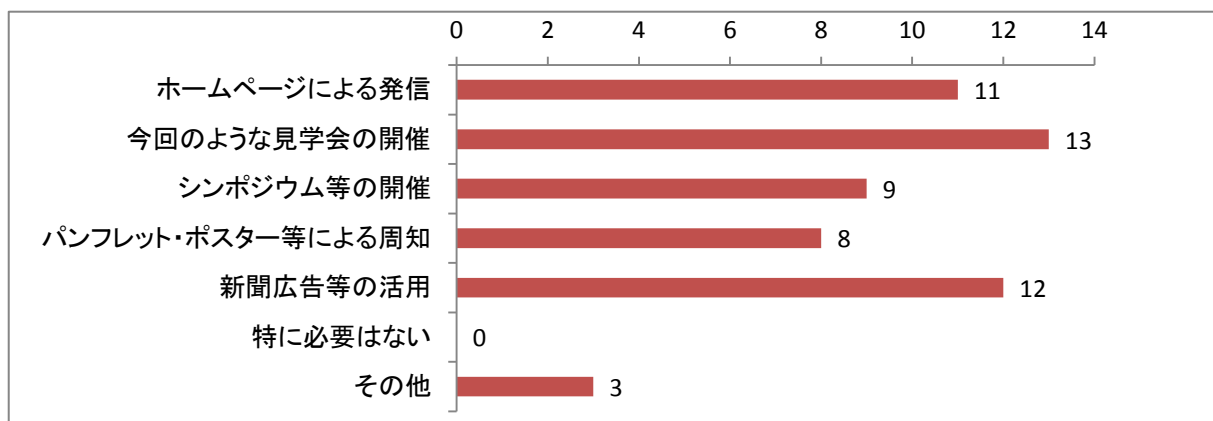
(自由記述)

- ・低密度植栽の場合の風害病虫害のリスクについて説明がほしかった。
- ・カラマツ材が CLT で高い需要があるようですが、現在の需要予測とカラマツの生長後のギャップについて、拡大造林政策における失敗の反省を踏まえた対応の説明がほしかった。
- ・木材（木）の成長の仕組み
- ・森林内の生態系
- ・昼食でジビエ料理を選択できる店だと良かった。
- ・シカだけではない他の動物の被害（2）
- ・シカ捕獲後の工程
- ・ヘキサチューブの農業利用はあるのでしょうか？電気柵よりも安全で安価に思える。
- ・遠野支署の概要についての資料・説明があると良かったです。一つの支署の様子から、全体像を理解する事にもつながると思います。
- ・シカを使ったジビエ料理と調理方法

問8 実際にシカの被害地や対策法をご覧になって、  
今後どの程度実施する必要があると感じましたか？



問9 これらの対策の重要性を発信するためには  
どのような取組が必要だと思いますか？



(その他)

- ・テレビの情報番組で流す
- ・県、市町村との連携

問6 その他、現地見学会についてご意見があればお書き下さい

(自由記述)

【今回の見学会について】

- ・林道を走るのでも非日常で、思い出に残った。
- ・支署長のお話が大変おもしろかった
- ・バスの中で遠野支署長さんが丁寧に説明して下さり大変良い見学会でした。
- ・遠野支署長が、バス車内で説明していただいた遠野の歴史や経済・産業など、自分で調べないとわからない情報をお話いただき大変参考となりました。ありがとうございました。
- ・今回は説明が丁寧にして頂きました。バスでの移動が多かったので、バス内で様々説明頂いたのが勉強になりました。
- ・情報発信の必要性を感じた

- ・隣の市であるため、よく訪れているが、新しい発見が有り良かったです。
- ・モニター見学会の際に高速道路通過したが、多くの森林が伐採された感じであった。
- ・①今回の見学会のご案内通知が一月をきり遅かったため、自分の仕事の日程を変更をして参加しました。日程については、2～3ヶ月前には連絡をお願いします。

#### 【見学会を踏まえての質問・疑問】

- ・クマの胆は医薬品として大変重宝されているようだが、シカの場合は何か特に医療の面で活用できる物はないか、研究されているのか
- ・低密度植栽試験地について
 

再造林に掛かる費用の内、大きな比率を占める植え付け等の初期費用を圧縮し、林業経営の安定化を図る上で大変大きな意義の有る手法だと思いました。拝見した現地が、植え付けからの年数が少ないので、残念ながら素人目にはイメージが掴めませんでした。植え付けの樹間が大きい事による、日照の関係での下草の繁茂や枝の枯れ上がりが無いことに因る、枝打ちのコストの部分が最終的にどうなるのかが懸念されました。例えば、斜面の向きや傾斜、地味などを勘案して、敢えて再造林せず、最終的にブナなどの森になるよう誘導するという選択もあって良いのでは？とも感じました。下草を刈る作業をしている方は、炎天下で重労働だと思えます。防刃の作業服を着ているそうですが、作業服にバッテリー式のファンを付けた空調服という製品があります。試してみたらいかがでしょうか。
- ・シカ被害地について
 

忌避剤、ヘキサチューブなど対策の様子が良く分かりました。原発事故の放射能の関係もあって捕獲したシカが積極的に利用されていない点は残念に感じました。(美味しく食べていると言う話もありましたが) 餌や塩分などで大規模な囲い罠に誘引して、駆除する事なども必要かと思いました。将来的に放射能の問題がクリアされれば、シカ肉などを有効活用して、有害鳥獣駆除の厄介者から森林局の新たな収入元になるように成れば良いなと思います。今回の見学会も非常に詳しい資料を用意頂き、理解の助けに成ったと思います、有難うございました。
- ・今回の現地見学会ではありませんが、研究所（最新の樹木技術研究の場）の見学など希望します。(杉花粉が抑えられた樹木の研究など)
- ・シカの被害地対策について、実態調査が主流で被害を抑える対策（駆除）は実行されていないと感じました。他の関連機関との連携が難しいのでしょうか。

#### 【今後の見学会に向けて】

- ・見学会後参加した方での話し合いの場があっても良かった。見学だけだと意見等…その場での時間が足りないように思う。
- ・モニター同士で意見交換がしやすいよう、バスの中でも良いと思うので自己紹介の場があると良かった。
- ・白神山地の天然林を見学したかった。

## 5. その他、国有林に関するご意見

(自由記述)(回答より抜粋)

### 【疑問等】

- ・ 孟宗竹林の整備を行っているが、ノウハウがなくて困っている。出来れば全国の事例等を管理局で公表していただければありがたいです。県の試験場の成果でも良いので、ホームページの一角に事例集などを纏めていただければありがたいです。
- ・ 木材がどのように利用されているのかを知りたい。私たちが知らない利用方法ももっとあるだろう。
- ・ 新聞 TV 等で、海外資本による森林の買い占め(水資源等の問題)が報じられており、(国有林は問題ないと思うが) 民有林の方が心配である。
- ・ 森林総合管理士などの制度について詳しく知りたいです。一般企業や民間で仕事を行う場合、上記の制度があって容易に参加しづらい事例があるようですが、どのような仕組みなのでしょう。林業普及との関係性が余り見えてこないような感じがします。
- ・ 森林整備事業について詳しく知りたいです。東北各県で事業化されているのでしょうか。国有地と民有地で取組みの違い予算の使い分けなど、あるのでしょうか。

### 【国有林野事業へのご意見】

- ・ 自然休養林について、公開・アピール等をもっとして、その後は地元の自然保護団体などへ管理を委託してはどうか。
- ・ これからも歩いてみたくなるような山を守ってほしい
- ・ 森林との関わりや林業に対する事柄を広く知らせるためには「森林教室」などの学校教育、子供の頃からの教育とのタイアップが近道だと思う
- ・ 現地見学会等でも、もう少し力を抜いてフレンドリーな感じでも良いと思う。
- ・ 送って頂いた資料興味深く拝見しています、特に「みどりの東北 vol138」のクマハギ被害の記事は大変面白く読みました。私の地元の鳥海山系でもツキノワグマは多く生息しているようですが、こちらではクマハギは見られないようです、ブナやネマガリタケなどの熊の食物が比較的多いからか?と思います、ブナの実が少ない年は人里まで(近く、では無くリアルに都市部近郊まで)クマが出てきて騒ぎになったりしますが、クマハギの被害を抑える為、被害地域の熊の徹底した駆除が推奨されていましたが、杉の人工林を一部、ブナ林に移行することも、即効性は期待できませんがクマハギの習性(文化?)が発現することを抑止する一定の効果が期待できるように思えます。何とか野生動物と折り合いをつける、自然との調和が取れた国有林事業になるよう希望しています。

### 【林野行政全般へのご意見】

- ・ 林業の低コスト化に向けて大型ハーベスタを各都道府県に多く補助金を活用して増やしてほしい。
- ・ 近所の高齢者向け施設の内装に木が多く使われており、快適な雰囲気であった。今後そのような施設は増えると思われるので、そういった所にもっと国産材が活用されるよう対策やキャンペーンを行うべき
- ・ ゲリラ豪雨やそれに伴う災害が今の日本では何処で起きても不思議ではなくなった現状を説明して、森林の役割が以下に大切であることを PR してもらいたい。

### 【モニター制度へのご意見】

- ・2年間ではよく分からない気がする。国有林野の大事な事をもっと知りたいと思いました。
- ・行政機関の中では立地上一般人から距離のある組織だと思う。そのためモニター制度は重要な機会

### 【広報関係へのご意見】

- ・HP、資料等は時間がかかると思うが、見る人が受けやすく、また受けるだけではなく考えてもらえるような情報発信の仕方が大切だと思う。
- ・写真をたくさんきれいに使った記事は読む人の興味を引くのでそのような記事を増やしてほしい
- ・漫画がわかりやすいので上手く活用を
- ・「森林官からの手紙」に書き手の写真があれば良い
- ・民有地との連携について具体的な方針が知りたいです。
- ・一般企業へ事業展開する場合、事業内容や収支の内容が知りたいです。

## まとめ

### （木材の需要拡大について）

木材の需要拡大については、ほとんどの方が、賛成の意見であり、反対をする人はいませんでした。主な理由としては「自然環境の維持」や「日本固有の資源である」事などが多く寄せられました。需要拡大に向けて、様々な箇所に木材を利用するのが良いと言った意見が寄せられた一方、大型建築物については、木材の強度の不安から、多くの方が活用に対してあまり積極的でない事も分かりました。

これらの需要拡大に向けた取組としては、多くの方が、新しい技術の開発を望んでおり、その他には国内での材の生産やメディアによる広報が必要であるという結果が得られました。また、そのために国有林は材の生産のみならず、イベントや各種広報、新技術の開発や教育など、広く取り組む必要がある事が分かりました。多くの方が、材の生産だけを行う事業者としてではなく、国の行政機関として、各種広報やイベントの開催等を通して、需要拡大に向けた取組を推進していく必要があると感じている事が分かりました。

### （パンフレット「東北の国有林」について）

パンフレットについては、多くの人に満足いただいております。特に良かったポイントとして、写真等を多く活用している点が挙げられていました。一方で、単なる業務の紹介にとどまっている点などが悪い点としてあげられており、イベント情報や職員による紹介など、一般の人が興味を持つようなトピックスについても載せてほしいといった声が多く寄せられました。

またパンフレットを配布する箇所としては、学校や公共施設等での配付の他、ビジターセンター等森林・林業に興味のある人が訪れる場所で配付すべきとの意見も多く寄せられました。

今回頂いた意見を参考に、今後パンフレットのリニューアルを行いたいと思います。

### （ホームページについて）

東北局以外のホームページについては多くの方が林野庁のホームページを見た事があると回答した一方で、他局や農林水産省のホームページは見た事がない人も半分程度いらっしゃいました。そのホームページを見た目的としては、各産業の情報や、実施している事業、イベントについて調べる人が多かったですが、農林水産省で実施しているイベントを調べる割合は、林野庁のホームページを活用して調べる人に対して少なかったです。

前回のアンケートで、東北局のホームページを見る目的で上位を占めた内容がどれほど充実しているかについて聞いたところ、多くの方は充実していると答えた一方で、充実していないと思う人もおり、今後さらなる充実が求められている事が分かりました。

また、今後前面に出すべき情報としては、イベント情報や関係する観光地の情報など、一般の人が興味を示す物をまず前面に出すべきといった意見が多く出されました。

ホームページのターゲットとするべき年齢層については、中学生～大学生といった、若い世代向け、若しくは幅広い年齢層を対象とするべきとした答えが多く寄せられました。

### （現地見学会について）

現地見学会については多くの人に満足していただけた一方、資料等も含めて、一部満足いただけなかった部分もありました。頂きました意見を元に、今後の見学会の改善に繋げていきたいと思っております。

見学地については、特にシカ被害地がおもしろかったという意見が多く、森林官による実演等が強く印象に残ったとの事です。

シカ対策についても、多くの方が実施するべきと考えていましたが、積極的に多くの地域でというよりは、被害の出た地域若しくは出そうな地域で実施するべきといった意見も多かったです。

そして、これらの取組の重要性を発信するためには、今回のような見学会、広告の活用等広く様々な方法で周知するべきと言った意見が寄せられました。

最後に、今回アンケートに御協力いただきましたモニターの皆様に、再度御礼を申し上げますとともに、寄せられました意見を元に、国有林事業をよりよい物としていけるよう努力して参りますので、今後とも御協力のほどよろしくお願いいたします。